



■ INFORMATION ■

■ 駐車場案内塔リニューアル



「近くまでは来ているけれど駐車場の場所が分かりづらい!」とこれまでたくさん問い合わせがありました。

そこで案内塔をリニューアルしました。『P』と矢印が大きく、より目立つようになり、駐車場の場所の問い合わせが激減しました。

これからもお客様の一聲一聲を大事に館運営に努めています。

●「わかりやすいよ」との声が増加

維新ふるさと館 駐車場のご案内

観光客の皆さんからお尋ねがあるのが駐車場の場所。駐車場は西郷隆盛・従道誕生地の前の「専用駐車場」と維新ふるさと館の対岸にある「観光交流センター駐車場」の2ヶ所です。どちらも3時間まで無料。



第七回 西郷隆盛をしのぶ 維新ふるさと館書道展

書をこよなく愛した西郷隆盛。西郷が没した9月24日を挟む23日間、広く市民から募集した西郷関連の書道作品を展示することにより、西郷の人徳や偉業をしのぶとともに郷土への関心を高めることを目的に開催します。今年で7回目。昨年も県内外を問わず2,000点あまりの応募がありました。

今年もたくさんのご来館をお待ちしています。

【作品展示】平成26年9月23日(火・祝)～

10月15日(水) 9:00～17:00

※今回は、西郷が書いた田上小学校の門札を
6年ぶりに展示

詳しくは当館オフィシャルホームページ▶▶

<http://www.ishinfurusatokan.info>

書道展ページをご覧ください。



温故地新

ふる故きを温ね、地元を新たに。

■ 薩摩藩英国留学生記念館オープン

英国留学生渡欧の地、いちき串木野市羽島に薩摩スチューデントの功績、歴史を伝える薩摩藩英国留学生記念館がオープンしました。

薩摩スチューデントのことは維新ふるさと館の体感ホールでも「薩摩スチューデント、西へ」を上演、紹介しています。「大変感動した。現代の子どもたちに薩摩スチューデントの心意気を伝えたい」と留学生の功績を称える方、ファンの方がたくさんいらっしゃいます。

危険を冒してまでも世界を見るために、日本を変えるために旅立った若者たち。貴重な資料が展示してある記念館へ是非お出掛けください。

■ 楽しさのお裾分け

6月に神戸からの修学旅行生から自分たちの住んでいる街の花「コスモス」の種をいただきました。旅行中に出会った方にお渡ししているそうです。

当館清掃スタッフを中心に種まきをし、成長を見守ってきました。8月4日、一輪だけ他のより先に咲き、その可愛らしさが来館者に笑顔をプレゼント。満開が楽しみです。



ISHIN 維新

明治維新を分かりやすく、楽しく

維新ふるさと館情報紙

【No.11】

■ 平成26年(2014年)夏季号
■ 発行:鹿児島市維新ふるさと館
〒892-0846 鹿児島市加治屋町23番1号
TEL.099-239-7700/FAX.099-239-7800
<http://www.ishinfurusatokan.info>



西郷隆盛像(鹿児島市城山町) 画 / 大園 康広

西郷ドンのつぶやき 「おいどんな、満足でござわす」

城山を背に桜島をグッと見つめて建つ西郷銅像は、何と言っても鹿児島のシンボルである。銅像建立場所については、種々検討されたが、結局この鶴丸城二の丸跡に落ち着いたという。

島津斉彬に寵愛された西郷さんにしてみれば、主君の住む本丸から桜島を眺めたかったのではないか。銅像の前にたたずみじっと見つめていると、ふとそういう想いにかられてくる。しかまた、すべてに謙虚で控えめにふるまう西郷さんの性格を思うと、それは本人の意にそぐわないことかもしれないとの想いも浮かぶ。

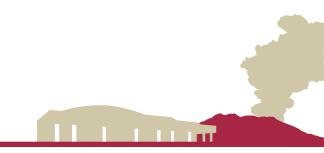
銅像制作者の安藤照は鹿児島の新屋敷に生まれた人で、東京渋谷の「忠犬ハチ公」像の制作者としても知られているが、西郷銅像制作には8年を費やし、国内はもちろん西欧までも足を運び、さらに

事績や性格、心情など研究に研究を重ね、昭和12年5月23日に除幕式を迎えた。苦労して完成した銅像であったが、西郷さんを崇拜する一部の薩摩人からは銅像に不満の声があがり、「軍服姿であるのに、なぜ勲章をつけなかったのか」と迫られ、安藤照は身の危険すら感じ、一時は身を隠さねばならなかつたと述懐している。

なるほど軍服には勲章はつきものである。陸軍大将であった西郷さんにしてみればなおさらのことであろう。もちろん安藤照はそれも十分承知の上であった。すべてに質素で、きらびやかな装いを嫌う西郷さんの心情を慮り、「西郷さんは決して喜ばない」との考え方から、あえて勲章をつけなかったという。

銅像の多い鹿児島の街では、日頃、ただ何気なく見て通り過ぎることが多いが、時に立ち止り、こうした制作者の苦労や心情に思いを馳せることも「維新の街」には大切なことではないかと思うのである。

(文/福田賢治維新ふるさと館特別顧問)



ありがとうございます 入館者300万人を達成



●300万人目の入館者の栗津様ご一家と鹿児島市長

当館が平成26年7月22日入館者数300万人を達成し、記念セレモニーを開催。平成6年4月29日開館した当館

は、20年4か月で300万人を達成しました。これは、鹿児島市内の施設では、かごしま水族館・平川動物園につぐ速さとなりました。

記念すべき300万人目の入館者は、東京都小金井市から夏休みを利用し、息子さんの勉強のために訪れたという栗津様ご一家。くす玉割りを行い、森鹿児島市長が「入館者300万人目記念証」や鹿児島の特産品などを贈呈しました。

栗津さんは、「歴史のことは詳しくないけど、勉強しようと思ってこの館に来た。このようなことになると思っていなかったので、びっくりしている」と、報道陣の取材に答えていました。

「維新ふるさとショップ」オープン ～鹿児島の特産品などを展示・販売～

入館者300万人を迎えた同22日、当館の受付横に、鹿児島の特産品や明治維新・鹿児島に関する書籍、当館オリジナルグッズなどを展示・販売するショップがオープンしました。このショップは、当館に来館する皆さまの「お土産がここで買えたら」という要望にお応えし、また開館20周年記念として設置したものです。鹿児島の特産品や書籍など133種類の商品を取り揃えています。商品の種類、販売者など、以下をご覧ください。

【商品紹介】

- (1)鹿児島の特産品
 - ・薩摩焼…箸置き、夫婦湯呑など3窯元の7種類を販売
 - ・大島紬…ストール、財布、名刺入れ、シュシュなど4織物業者の26種類を販売
 - ・薩摩切子…ネックレスを1工房から4種類販売
 - ・その他、鹿児島県産レモングラスを使用したハンドクリームなど鹿児島県特産品コンクールの入賞商品を中心に13業者の58種類を販売
- (2)明治維新に関連する書籍
 - ・西郷隆盛関連の書籍を中心に22種類を取り扱い
 - (3)維新ふるさと館オリジナルグッズ
 - ・Tシャツ、バッヂ、キーホルダーなど5種類販売

【お店紹介】

- (1)大島紬関連～ランコントル・窪田織物・益田織物・大瀬商店
- (2)薩摩焼～お茶碗屋つきの虫・紫陶・長太郎焼
- (3)屋久杉・孟宗竹関連～和くら
- (4)薩摩切子～ガラス工房弟子丸
- (5)書籍・DVD～熊本ネット・英光社・斯文堂・西郷南洲顕彰館・MBC
- (6)オリジナルグッズ～森の人形家・あおやま・大園康広
- (7)その他～MBC開発・ゆう工房・村山組・コピオン・徳田屋書店・久保造形・山形屋

なお、当館のオリジナルグッズは、これから増やしていくたいと思っています。皆様からのご意見、ご要望などを是非お寄せください。



●鹿児島の「よかもん」をどうぞ

■夏休み 親子歴史講座に79名参加



●親子ともども熱心に受講

7月27日に小学校高学年と中学生の親子を対象にした、夏休み親子歴史講座「銅像に見る鹿児島の歴史」を開講しました。

街中のいたるところで目に見る銅像。この人たちの名前や功績、そしてその場所に銅像が建てられた理由とは?学校の授業では聞けない歴史の裏話に、お子さまはもちろん保護者の方々も、熱心にメモを取りながら聞き入っていました。講座のあとオリジナルキーホルダーと缶バッヂ作りも好評でした。夏休みの思い出がひとつ増えたようです。

今回は44組79名のご家族にご参加いただきました。

■歴史講座始まる

7月5・6日、平成26年度第1回目となる歴史講座を開講し

ました。テーマは『幕末動乱から明治への胎動』。

両日とも満席で、受講された方からは「今回もとても面白かった」との感想が多数寄せられました。次回は10月の開催を予定しています。今年度も皆さまのご期待に沿えるような講座を実施していきたいと思います。

■パンフレット・入館券が新しくなりました

入館者300万人達成を記念して、パンフレットと入館券が新しくなりました。

パンフレットはこれまでより、サイズが大きく、分かりやすく、詳しく述べた魅力が十分に伝わる内容となっています。

入館券は大人と子どもで雰囲気をがらりと変えました。大人券は西郷と大久保の銅像をモチーフに、二人の真の力強さを、子ども券はイラストを用いて二人が多くの人々から親しまれたことをイメージしています。どちらも当館での思い出とともに入館の良い記念となりますように…。



●大人券

西郷さんを語る録音テープ

西郷隆盛の妻イトさんは弟がお

り、その弟の妻を岩山トクと言いま

した。このトクさんは、昭和二十九年(一九四五)すでに九十五才になつていま

した。その時

の隆盛について

対談されま

した。清氏と西郷

がこの維

新ふるさと

の録音テー

プがこの維

新ふるさと

館に保管さ

れています。



●テープには対談が33分余り録音されている

岩山トクさんは、西郷隆盛の近くで生活し、その癖や性格、日常の生活の様子などについて語られています。そこには、家庭を大事にし思いやの深かつた、西郷隆盛の意外な素顔などが語られていて大変貴重な資料となっています。

西郷隆盛に関しては、いろいろなエピソードが伝えられていますが、このテープは身近に生活した人ならではの実像が語られたものとして、平成十七年六月にはNHK番組「その時歴史が動いた」でも取り上げられ、放映されました。

西郷さんの氣さくな人柄が感じられた「など」という話を聞くことができます。



●西郷さんを語るリスニングコーナー

当館のリスニングコーナーでは、五つの話題を取り上げ、西郷隆盛の実像を紹介しています。当時の純粋で上品な鹿児島弁での対談のうえ、県外の方や、県内でも若い人は増えていますので、テロップを流して解説しています。

その内容を一部紹介しますと、例えば「西郷さんは、政府を辞めて帰京したころはよく日当山温泉にかけて、毎日、兎狩りや魚釣りにでかけている。加治木の青年たちが度々話を伺いに来たが、西郷さんは居ないと言いなさいと居留守を使っていた」という話。また、「武の屋敷には、書生をはじめ子どもたちなど二十人ほどが生活していて、相撲をしたりいろいろなことをしたりして賑やかだったこと、兄弟も鹿児島に帰省の度に立ち寄り、西郷さんの氣さくな人柄が感じられた」という話を聞くことができます。